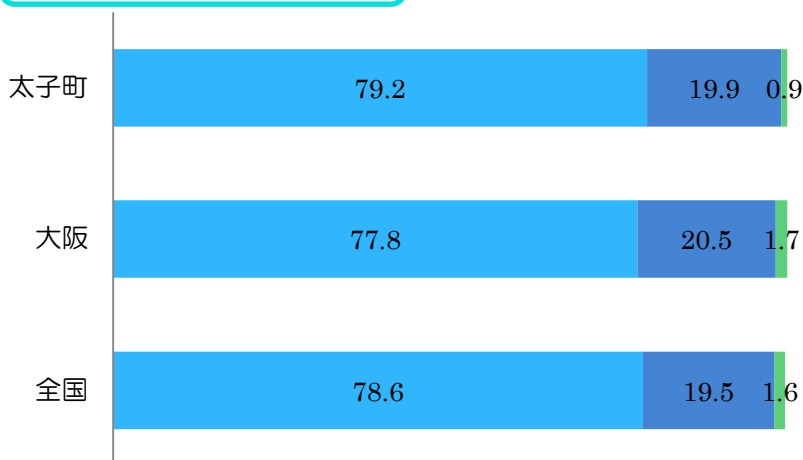


平成 29 年度 全国学力・学習状況調

算数 A

正答率比較

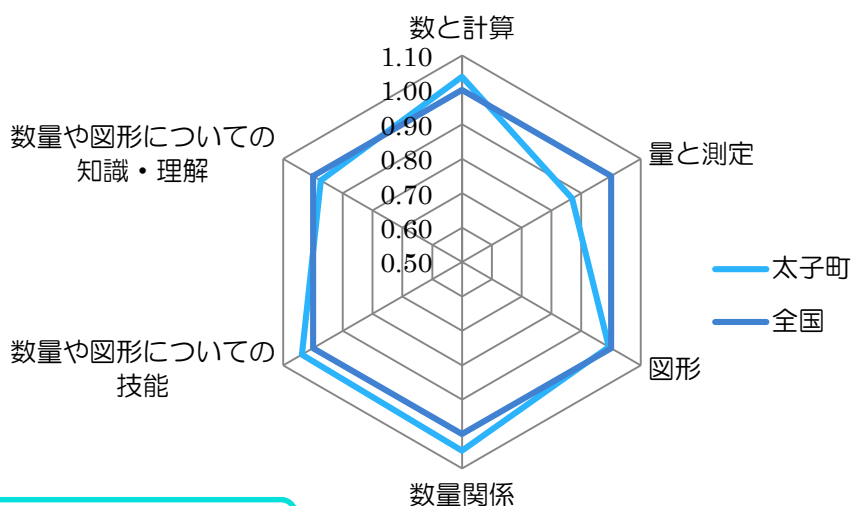
■ 正答率 ■ 誤答率 ■ 無解答率



全国の平均正答率が、78.6%であるのに対し、太子町の平均正答率は79.2%であり、0.6ポイント上回った。

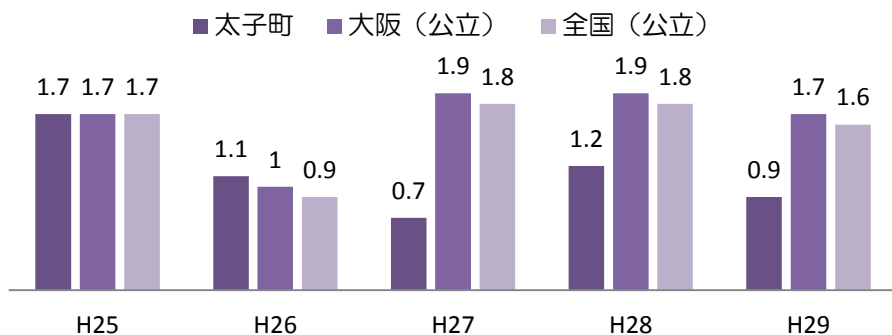


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



「数と計算」「数量や図形についての技能」「数量関係」においては、全国平均を上回る結果となったが、「量と測定」では全国平均を大きく下回った。苦手意識があると考えられる。

無解答率



全国や大阪の無回答率はあまり昨年度と変わりはないが、太子町は昨年度に比べて0.3ポイント低くなった。最後まで問題に取り組む姿勢がどの教科においても見られるようだ。



算数の基礎的な力の定着は確実にすすんできたようだ。しかし、得意分野と不得意分野に大きな特徴がみられる。算数や数学では、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」の4つの分野がそれぞれ重なっていて、問題解決へとつなげなくては行けない。各分野のレベルアップは必要不可欠である。